

## 合理的配慮検討シート

小学校 年 組 番 氏名：



### 1. 子どもの困難さ・具体的な場面

- 物品の管理ができない。
  - ・ よく物をなくしてしまう。
  - ・ 机の周りに物が散乱している。
  - ・ 指示が通りにくい。
  - ・ ぼーっとしている。

### 2. 隠れた要因

- 物の量が多くなると、管理が難しくなる。
  - ・ いますべきことを忘れてしまう。【実行機能・作業記憶】
  - ・ 片付ける場所や手順が分からない。【実行機能・計画立案】
  - ・ 不器用で、うまく片付けられない。【運動機能・巧緻機能】
  - ・ 空間がうまくとらえられない。【高次脳機能・空間認知】

### 3. 視点

- ・ 不注意によって別のことに気をとられ、必要な情報に焦点が当たらず、いますべきことを忘れてしまう。
- ・ 計画立案が弱く、片付ける場所屋手順が分からない。
- ・ 手先の細かい動作が苦手なために、道具を揃えて片付けることが難しい。プリントがたためずにぐちゃぐちゃになってしまう。
- ・ 空間がうまくとらえられないことで、物の上に物を置いたり、物が入りそうもない隙間に物を突っ込んだりして、その結果、机の上が散らかったり物が落ちたりする場合もある。
- ・ 周囲からは「だらしがない」などと思われがちだが、わざとそうしているわけではないことを理解する。
- ・ 注意を繰り返されたり、叱責されることで、「自分はダメな人間だ」と自分を責めてしまうことがある。

### 4. 考えられる合理的配慮

